

自社製品 アジア販売加速

タカハラコーポレーション

3年めど代理店2.5倍

光触媒製品や
高耐久フィルム 中国進出も検討

住居・ビルメンテナンスのタカハラコーポレーション（本社名古屋市中区野南町、高尾ビル）は、海外事業を強化する。3年後をめどに、海外販売代理店を現在の8社から20社程度に拡大し、韓国や台湾などアジア諸国へ自社開発した光触媒塗料を売り込む。向こう3年以内に、海外売上高を現在の3千万円（13年9月期）から2億円へ引き上げたい考え。また、中国進出の検討にも入る。



高尾ビル 社長 高尾 直彦
同社は、建物総合メンテナンス業務以外、光触媒塗料の開発、販売も手掛けており、海外事業は環境関

は、耐久性に優れたハードコートフィルム「ビバ！シート」や、光触媒を活用した塗料などの自社開発製品。ビバ！シートは、建物の床や壁、公共交通機関の床面サインなどに使用されている特殊フィルムで、耐久性や耐熱性に優れ、抗菌効果が認められている。一方の光触媒塗料は、建物の塗料や繊維加工品向けに開発したもので、光によって抗菌、消臭、空気の浄化、防汚効果を発揮する。高尾社長は「付加価値のある自社商品を開発し、経済産業省の『新連携事業』に採択され、国内の繊維メーカーや建築会社などへの販売実績がある。こうした実績を軸にアジアでの販売高は8億円超、従業員を加速させたい考えだ」と話している。



タカハラコーポレーションの本社



アジアへの販売を強化する耐久性フィルム「ビバ！シート」。(台湾の桃園空港内にある床面サイン)

連製品の販売が主力。と販売代理店契約を結ぶ。インドネシア、タイの4カ国で現地企業8社、海外で販売するの

高尾社長は「付加価値のある自社商品を開発し、経済産業省の『新連携事業』に採択され、国内の繊維メーカーや建築会社などへの販売実績がある。こうした実績を軸にアジアでの販売高は8億円超、従業員を加速させたい考えだ」と話している。